

# 第 3 号議案

## 第 9 期 事業計画書（案）

令和 7 年 10 月 1 日から令和 8 年 9 月 30 日まで

NP0 法人あったかいねっと

### 1 事業実施の方針

当 NP0 法人は今期 8 年目を迎えます。

9 年前、私は NP0 法人を作り共生型デイサービスを中心に誰もが生きやすいまちづくり活動をすることを決め、恩師の水野治太郎先生に報告に行きました。私の話を聞いたあと、先生は「グリーフケアの心で寄り添い、敬助（けいじょ）で行いなさい」と言われました。敬助という言葉は「敬い助ける」です。この言葉を恩師からいただき、「目の前の笑顔のために、認め引き出し支え合い共に生きる」を理念として、この 8 年間事業を行って参りました。

共生型デイサービスは、不思議な場の力を持っています。年齢、背景の違う人たちが民家に集まり大きな家族のように過ごす環境の中で、時には「大変」と思うことも起きます。しかし「大きく変わるチャンス」と捉え、焦らず慌てず諦めず可能性を見て関わると、どなたの中にも変化が起こってきます。「人は生きる意味を探求し、いつからどこからでも変われ、成熟し続ける」と恩師が話してくれたことを思い出します。人は人によって磨かれ優しくなれるということを目の前で見させて頂き、とてもあたたかな気持ちになることが多い現場でもあります。引き続き、敬助で共に育ち合い生きる場を仲間と共に深めていきます。

デイサービスの中で工賃の出せる事業所を目指し、現在行っている得意を活かして自己実現でき、収益活動につながるような取り組み(カフェやファーム・工房)を再構成し、「生活介護工賃支給または B 型就労支援準備のための事業」を行います。

以下のように事業展開をします。

地域共生型交流サロン活動では、島根県社会貢献基金の助成金を一部資金として「NP0 同士がつながる地域共生型交流サロン活動」をネットワーク作りスタートの視点も入れて、思いの分かち合いの場を作る努力から始め、関係人口拡大を図ります。

また、組織内部のあり方を見直し、理事・社員・デイ職員だけでなく、周囲の理解も促し深い共感を育めるように伝えあう努力をしていきます。

第6期に取得した特例認定NPOについては、特例期間が3年であるため、引き続き「認定NPO」取得を目指します。

ご高齢者様の安全確保のため手すりの設置、事務所やホールのリフォームを行い、利用者様が安全に活動できるスペースを確保するとともに、職員にとっても働きやすくなるよう職場環境の改善を行います。

## 【1. 地域共生社会の実現に向けた事業】

### ① 共生型デイサービス事業について（8年目）

これまでと同様に、目の前の笑顔のために、個々がその人らしく安心して楽しく過ごしていただけるよう、それぞれの状態に合わせた必要な介護などの支援を提供します。

それぞれの心身の機能維持に努め、得意を引き出し喜びに変え支援します。そして、大きな家族として互いを大切に自助互助敬助の関りを重ねます。

ア 介護保険対象の方：個別機能訓練を継続的に実施するとともに、個々が健康に楽しみや役割を持ち過ごせるよう、より一層あたたかく丁寧な支援を行います。

イ 障がい者の方：介護保険に移行手前の方の利用者が多くなっており安心して安楽な生活介護を求められています。一方若い利用者は就労移行を目指していて、個々の特性・得意に合わせた作業活動や役割意識を後押しする支援と共に「工賃が出せる生活介護事業所」としての試行を準備が整い次第開始します。

ウ 障がい児の方：現在休止中ですが、夏休みの利用受け入れのため7月から再開予定。医療依存度の高い障がい児に対応できるサービスは乏しい現状ですので、受け入れるための準備期間とします。

エ 共生型デイサービスの視察・体験（交流）・実践研修を実施していきます。

オ 生活介護工賃支給または就労支援準備のため、作業活動を再考と再構成し、作業班ごとのお仕事の内容を精査し確定していきます。

現在の共生型生活介護の中で行っている、お仕事チャレンジ（カフェ・ファーム・工房など商品開発販売）をポイントから工賃として出せるよう準備をし、試行を繰り返します。現在の作業の他、内職など作業の受託をして取り組みを開始します。

## ② 相談支援事業について

令和5年5月に事業を開始し、利用者様へのアセスメント・アプローチを丁寧に行ってきました。また困難事例等は基幹センター等に助言をいただきながら、利用者様の望む生活の選択肢が増えるよう努めています。今後も、利用者様、ご家族様の気持ちに寄り添いながら、利用者様のニーズに応えることができるような関りを目指していきます。

現在利用者数は13名です。今後も相談支援事業の安定の為に、利用者数20名以上を目標に、他事業所との繋がりや連携を図りながら営業活動等行っていきます。

## 【2. 安心して過ごせる場所作り事業】

### ① とき時カフェについて

「デイサービスの利用者様への昼食サービス」を中心に、視察見学者やデイサービス利用者様のご家族、支援事業所、一般の方の予約も受け付け営業します。お菓子などの販売用食品作り、調理実習の企画実施をします。

### ② フリースペースについて

支援ハウスの空部屋を、地域の中の生きづらさを抱える方のフォローや地域共生社会に関わる活動を行っている団体や個人を支援するために貸出し、あたたかなまちづくりに寄与していきます。

## 【3. 自然（命の循環）を感じる活動に関する事業】

### ① あったかファームについて

あったかいいねっとの行う事業を支える柱として整備を続けます。農作物の栽培や収穫といった作業を通して、「命を感じる活動」としての役割を果たします。デイサービスの利用者様のみではなく、毎年恒例

となっている「さつま芋掘り」などサロン活動の一部としても地域に開いて活用していきます。

また、あったかファームの野菜を定期的に、対外的に販売出来るよう、生産性の向上を試み、あったか工房と共に地域イベントへの出店を行っています。

#### 【4. 育ちあう、ひろげる活動に関する事業】

##### ① 共生型交流サロンについて

###### ア 定例会・イベント

共生型交流サロンは、地域に施設を開き、どなたでも参加できる地域交流の場として、地域住民の生きづらさを抱える方々や引きこもり状態になっている本人またその家族を支える場としての役割もあります。

更に、ボランティアの方にとっても地域の中でできることを形にしていく場でもあり活動を広げていきます。

###### イ 人材育成

様々な研修を企画し地域共生社会を担う人材育成を目指します。

今まで研修やボランティア体験として企画実施していたものを、「共生型体験研修プログラム」として実践し、広く人材育成していきます。また、視察研修参加者にも協力していただき、学び合う場の企画も行います。

#### 【5. その他目的を達成するために必要な事業】

##### ① あったか工房について

利用者様やサロン活動参加者と一緒に「もの作り」を行い、引き続き就労につながるようにきっかけを作っていきます。

製作したものが物販収入に結び付くような仕組みを強固にして制作者支援につなげます。積極的に地域イベントにも出店し、物販の機会を増やします。

##### ② 目の前の笑顔のために

特定の内容は定めず、その時々必要性によって自由に動ける活動で、当法人の事業目標である必要だが「まだ地域にない」サービス・

支援・活動を積極的に行っていきます。昨年から生活困窮状態にある方とご縁あり、具体的支援方法など今後の支援方法も検討し進めます。

③ 傾聴相談事業

地域の要望に応じて開催します。

④ 整備事業

渡り廊下の屋根とデッキの風よけの設置、畑や花壇の整備、玄関等に手すりを設置する、手狭なホールや事務所のスペース拡大など、快適なデイサービスの生活環境の整備を必要に応じて検討していきます。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施予定の日時 場所、従事者の 予定人数	受益対象者の 範囲及び予定 人数	事業費の 予算額 (単位：千円)
【1. 地域共生社会の実現に向けた事業】				
共生型デイサービス 「お天気いいね」	介護保険、障がい福祉サービス事業のデイサービス	月～金 8:55～16:05 (祝日営業)	要支援 1・2 要介護 1～5 区分2～6 定員1日 15名	収益 :47,100 費用 :40,843
相談支援事業所 「雨のち晴れ」	障がいのある方が自立した日常生活又は社会生活を営むための相談支援	月～金 9:00～16:00 随時対応 (祝日休み)	障がい(児)者	収益 :1,000 費用 :800
【2. 安心して過ごせる場所作り事業】				

とき時 カフェ	地域食堂 物販（お菓子・ 惣菜など）	支援ハウス 厨房食堂	生活困窮者・孤 食の人・子ども ・地域の人	収益：800 費用：600
フリー スペース	・フリースペー スの貸出し	支援ハウス 和室・2階 ボランティアな ど必要に応じて	当法人の活動 趣旨に則した 団体、個人	収益：0 費用：0
【3. 自然（命の循環）を感じる活動に関する事業】				
あったか ファーム	畑作業、収穫、 調理、販売など	畑 随時  スタッフ2名	生きづらさを 抱えている人	収益：200 費用：100
【4. 育ちあう、ひろげる活動に関する事業】				
共生型 交流サロン	地域の障がい の有無、年齢に 関係なく参加 できる活動 引きこもり等 居場所づくり	偶数月第3日曜日 ※適宜打合わせ 浜田市熱田町112 9-1スタッフ2名	生きづらさを 抱える人 各回5名程度	収益：100 費用：30
人材育成	共生型人材育 成・研修会・茶 話会等	年2回程度実施 希望者に随時	地域共生社会 に興味ある方	収益：0 費用：0
【5. その他目的を達成するために必要な事業】				
あったか工房	「もの作り」で 就労に向けた 手作業の体験。 製品として販 売し作成者に 還元	随時 必要な場所	利用者様やサ ロン活動参加 者	収益：300 費用：100

目の前の笑顔 のために	地域共生社会 を実現するた めにまだ地域 にないサービ ス、支援活動	随時 必要な場所	生きづらさを 抱えている人	収益:0 費用:0
傾聴相談関連 事業	困っているこ とや生きづら さなどについ てお話を聴く( 個人・小グルー プでの相談)	支援ハウス 電話 要望のある時	生きづらさを 抱える方 悩みのある方	収益:0 費用:0
整備事業	渡り廊下の屋 根とデッキの 風よけの設置 畑や花壇の整 備 玄関等に手す りを設置 ホール・事務所 のスペースの 拡大リフォーム	随時	当法人事業所 への来所者全 て	収益:0 費用:0
法人活動全体 ※助成金寄付金などについては記載なし				収益 :50,415 費用 :42,687

※詳細については第9期活動予算書参照

### 3 その他の事業

実施なし